若鶴よ、未来へ羽ばたけ！！

都留高ニュース

発行所
山梨県立
都留高等学校
大月市大月
2丁目11-20
編集
都留高校
新聞同好会

平成３０年度締括り号

平成30年度卒業式で答辞を読み上げる浜田生徒会長（３月１日）写真部提供

３月１日、春の暖かさをはこぶ雨の中、第69回都留高校卒業証書授与式が挙行された。卯月県会議員、大月市長をはじめとする来賓の皆様、多数の保護者に来校していただいた。

今年卒業された先輩方は全日制課程２１０名、定時制課程３名の合計２１３名でした。先輩方は質の高い文武両道を続けられ左記のように多くの外郭団体表彰を受賞しています。また全国・関東大会出場選手等特別表彰者12件47名。

☆外郭団体賞受賞者
（数字はクラス）

◇山梨県高等学校体育連盟優秀選手表彰　３高尾夏鈴　陸上
◇山梨県高等学校文化連盟賞
　１福嶋美友　書道
◇県高等学校教育研究会生徒会指導部会会長賞
　４浜田希一
◇山梨県高等学校応援連盟会長賞　６水越裕一郎
◇山梨県高等学校野球連盟会長賞　１金丸大輝
◇山梨県高体連バレーボール専門部功労表彰　１宮澤紗奈
◇山梨県ハンドボール協会会長賞　６天野元喜３小泉嘉音
◇山梨県剣道連盟会長賞
　５板倉康志
◇山梨県高等学校山岳連盟会長賞　３和智海舟
◇山梨県バドミントン協会功労賞
　３髙山謙心２山下あすか
◇山梨県高体連バスケットボール専門部功労賞
　１小宮聖矢　６大森衣祐
◇山梨県高体連水泳専門部功労賞
　２岡部貴哉　２駒田優人
　２樋川歩実　２守屋果歩
　３小田和志　４花上陽平
　４安藤史夏　５長田澪来
　５小林未来
◇西関東吹奏楽連盟表彰
　４金丸晴海
◇山梨県吹奏楽連盟表彰
　１橘　実優　１日原光瑠
　２三浦優希　２谷内絢音
　４天野純哉４吉澤聡一朗
　４安藤杏華　４星野朱莉
　４米山実優　５石井晴也
　５亀田義樹　６元木壮瑠
　６重森悠香
◇山梨県高等学校放送連盟賞
　１天野利人
◇山梨県高文連美術・工芸専門部長賞
　２牧野里実
◇山梨県高等学校文化連盟茶道部会部会長賞　５野村　絢
◇山梨県高等学校書道連盟賞
　１福嶋美友
◇山梨県合唱連盟理事長賞
　４山下結衣菜
◇山梨県高等学校新聞専門部部会長賞　２渡邊帆乃香
◇山梨県高等学校文化連盟将棋専門部功労賞　６深沢健太
◇山梨県囲碁連盟会長賞
　６渡辺大雅
◇山梨県高校保健会優良生徒表彰　２酒井　櫻
◇山梨県空手道連盟会長賞
　３小澤夏姫
◇山梨県高等学校写真連盟会長賞　１小澤　花
◇山梨県高等学校理科部会会長賞　２前田優衣
◇全国高等学校家庭クラブ連盟功労者賞　１小川優香
◇山梨県高等学校文化連盟日本音楽部部長賞　３杉本祥菜
◇山梨県テニス協会会長賞
　４浜田希一

☆若鶴賞
４三塚　新　囲碁将棋

☆やまなみ文化賞
１福島美友　書道

生徒会功労賞受賞者16名でした。

さらに、全日制課程３カ年皆勤者47名、精勤者22名、定時制課程４カ年皆勤者１名と今年も数多くの先輩方が、日々の健康管理に努められ心身ともに鍛えられてきました。

また、先輩方は卒業後の進路にも最大限の努力をなされ、すでに東京大学、東北大学、都留文科大学をはじめとする国公立大や早稲田、慶応、ＭＡＲＣＨなど私立大学にも多数合格を出されています。

これから卒業生の前途洋々たる未来を御祈念しています。

青少年読書感想文コンクール

授賞式体験レポート

先日、経団連会館において青少年読書感想文コンクール授賞式が行われた。授賞式の様子を潜入取材！

牧羊神のブロンズ像

課題図書のマークとして

見覚えのある方も多いだろう。笛を吹いている様子を象っているそうだ。

貴重な体験

5階、飛鳥の間において皇太子殿下、皇太子妃殿下と話をさせていただく時間が設けられた。2、3分ほどだったが、感想文や本の話、部活の話、年が同じであられる愛子さまのお話などをし、貴重な体験ができた。

大先輩とお話

授賞式後の立食パーティーで、都留高新聞部ＯＢである中村建治さんとお話をすることができた。本の作家として授賞式に参加されていたそうで（偶然！）、当時の活動の様子を教えてくださった。県大会で優勝した話や、活動費のために広告をのせており、1年生はアポ取りに走らされた話など、興味深い話ばかりだった。（当時の記事は縮尺版として製本されているらしく、実際に読んで紹介したいところですが、まだ記事が見つかっていません。もし、縮尺版の在処を知っている方や、ご家族や知り合いで記事を持っている方がいましたら、新聞同好会までご連絡ください！）

都留高校新聞部ＯＢの中村さんと記念撮影

富士日本語学校を訪れて

―ＹＯＵは何しに山梨へ―

株式会社Ｇｒａｐｅｓ　代表取締役　小林建太さん
山梨に貢献したいと熱く語っていただきました。
（都留市にある富士日本語学校にて　２月４日撮影）

最近、取り上げられることの多い技能実習制度。技能実習制度は、母国にない技術、技能などの修得を目指すもので、帰国まで実習実施者と雇用契約を結び、技能実習を行う。実習計画は在留年数によって異なる。また、平成29年11月に交付された新制度により、在留年数は最大３年から５年に延長された。

技能実習計画では、雇用関係を結ぶまで、講習を受けることが義務付けられている。

先日訪れた「富士日本語学校」では、そのような実習前の外国人研修生を受け入れ、講習を行っている。

代表取締役の小林建太さんを取材した。

富士日本語学校について教えてください

技能実習制度では、日本在留から１ヶ月間、日本語研修をすることが義務付けられています。富士日本語学校は、そのような訪日したばかりの実習生を受け入れるため、２００９年に創設しました。創設当時は中国人が多かったのですが、今では生徒の大半がベトナム人です。

講習では、日本語の学習だけでなく、法律や文化についても学んだり、地域との交流も行ったりしています。

富士日本語学校の生徒の皆さん
ベトナムのおみやげをいただきました

話題になっている技能実習制度については

技能実習生は幸せか、ということですね。テレビではあまり良い報道をされていないですが、真面目に取り組んでいる実習生は充実した生活をしています。現地の平均年収が300万円ほどのなか、彼らは600万円近く稼いでいます。（戻ってから）車も、日本より高額で家より高い場合もあるのですが、購入することができたり、充実した生活をしているのは事実です。

報道されている問題点に

都留高部紹介

～ワンダーフォーゲル部編～

昨年、関東大会出場を果たしたワンダーフォーゲル部。存在は知っているけれど活動内容はわからない…見たことがない…そう思っている方が多いのではないのでしょうか？実際はどうなのでしょうか？部長さんにインタビューしました。

Ｑ１.普段の活動を教えてください

Ａ１.１年生７人、２年生６人で月に一度山に登っています。それ以外の時は大月バイパスを４～５㎞走ったり、実際の装備を背負って菊花山に登ったりして体力づくりをしているのと、雨の日は学科の勉強をしています。土日のどちらかは必ず休みです！

Ｑ２.学科があるんですね！どんなことを勉強するんですか？

Ａ２.応急手当などの緊急事態への対処法や、天気図など山に入る上で必要な知識を学んでいます。

Ｑ３.遅ればせながら関東大会出場おめでとうございます！大会ではどんなことをするんですか？

Ａ３.総体ではポイントを見つけながらの登山、タイムレース、学科試験、炊事を行って減点方式で順位が決まります。山では審査員が隠れていて歩き方も見られているし、炊事ではご飯の炊き具合が審査されるので気が抜けません。関東大会は交流会のような感じで、自分達の活動をアピールしたり、みんなで山に登ったりしてきました。とてもレベルが高かったです。

Ｑ４.今まで登った山で印象的なのは？

Ａ４.夏合宿で登った北アルプスの槍ヶ岳です。急斜面を15~20kgの装備を背負って登ったので大変でしたが、良い経験でした。毎回違う山に登っています、山梨県は山が多いので（笑）。

Ｑ５.ワンゲル部の生態（あるある）を教えてください！

Ａ５.変わり者が多めです…みんな何かしらのオタク（笑）なので、雑談が盛り上がります。山に登りながら楽しく話せていいですね。

Ｑ６.ワンゲル部に入って良かったことを教えてください。

Ａ６.他の運動部では味わえないような感じ…勝った負けたも大事ですが、頂上での景色や登り切った時の達成感がとてもいい思い出になります。

Ｑ７.最後に都留高生に一言！

Ａ７.今、女子部員がいないんです（2つ上の代【H29年度卒業生】にはいたのですが）。部室はガラ空きだし、装備もあります。そして何より関東大会を狙えますのでぜひ来てほしいです。また、男女関わらず勉強も部活も両立できます。入ってしまえば楽しいので興味があれば最初の一歩を踏み出して欲しいです。

インタビューありがとうございました！

ワンダーフォーゲル部のみなさん

ついては

何十万人もいる実習生の中で問題を起こしているのは、ほんの数パーセントです。問題の多くは文化の違いが原因だと思います。例えば食文化の場合、ベトナム人は犬を食べる文化があるのですが、日本で犬を食べたら問題ですよね。また、スーパーのフルーツを食べてから、皮を渡して会計するのも同様に問題視されてしまいます。

その他にも、日本の技術が盗まれて、中国をはじめ勢いの盛んな国に追い越されてしまうことも危惧されています。

高校生に伝えたいこと

個人的に、日本や世界の大きな流れを読んで進路を決めた方がいいと思います。今、英語を話せる人はたくさんいますよね。だから、それを職にすることは大変なことです。もちろん英語を話すことは必要なことですが、仕事にするならば、話せる日本人の少ない言語の方が良いかもしれない。その他にも国際化、ＩＴ化、少子高齢化など、さまざまな側面を考えてみてください。

今、注目の人
～大久保和樹先生～

毎月発行されている『**やまかいの四季**』。先月号で通算300号を迎えました。作り続けること35年以上…！作り始めたきっかけは？301号以降の予定は…？大久保先生にインタビューしました。

過去の記事を見ながら説明してくれた大久保先生

記者（以後、記）：やまかいの四季を発行し始めたきっかけを教えてください。

大：久保先生（以後、大）最初は「富士山だより」という名前でした。作り始めた当時、１９８３年の９月に富士山が噴火するという「富士山大爆発説」が話題になったんです（もちろん俗説です）。それに興味を持った生徒が僕に「富士山噴火するって本当ですか？」と聞いてきてくれて、普段理科が嫌いな子達が興味を持っているのはチャンスだと思い次の年の授業（当時は「理科Ⅰ」という科目で物化生地を全て勉強しました）の地学分野を富士山に特化したものにしました。保護者にも富士山のことを知ってもらおうということで「富士山だより」を発行し始めました。

記：文字の雰囲気が今と違いますね…

大：最初は手書きだったのですが、途中から出始めのワープロで打っています。一度に３行しか打てないし、保存機能がない、画面がないので字を確認できず印刷して間違っていたらやり直し…素晴らしいワープロでした（笑）

記：やまかいの四季と名前を変えたタイミングは？

大：富士山だよりを４年で70号出してから、学校を異動になったときです。そこで発行をやめようと思ったのですが続けて欲しいと言ってもらったので、題名を「やまかいの四季」として230号発行しています。

記：35年以上も発行し続けているんですね…

大：１年に２回しか出せなかったり、学校以外のところに勤めていて途絶えた時もありましたけど、そうですね。

記：１号出すのにどれくらいの時間がかかりますか？

大：取材などで１つの特集に数ヶ月～数年かかるので、いくつか話題のストックを作っています。301号のストックもありますよ。

記：今までの記事の中でお気に入りはありますか？

大：全部自信作ですが…都留高で出した中でいうなら、赴任してきて一番最初に発行したソメイヨシノ（211号 染井吉野桜はクローン）かな、新年度始めて発行する号はその学校の身近な話題を載せることにしています。

記：やまかいの四季を作るときのモットーは？

大：又聞きや本からコピーするだけには絶対しません。自分の目で見たことを自分の手で書きます。また、「富士山だより」からすべてが始まったので、富士山にはとことんこだわっています。最後の１号は富士山でいこうと思っています。

記：都留高生に望むことはありますか？

大：いくつかの号で「こんなことしたらどうですか」という投げかけをしています。興味がある人は是非つるたんなどで調べて見て欲しいです。また、理科ができる、というのは物化生地それぞれができるということではなく、すべてまとめて使えることだと思います。領域にとらわれず全体像を捉えられるようにして欲しいです。…やまかいもそうしているつもりですが、化学や物理は話題にしづらいんです。暇な時にどの分野が一番多いか数えたら、植物に関する特集が一番多かったですね（笑）

毎月楽しみにしているやまかいの四季のことをたくさん聴くことができ、よかったです。お忙しい中、インタビューありがとうございました！。やまかいの四季のバックナンバーは化学講義室に張り出されています。ぜひご覧ください！。

自学進取

今年は日本でラグビー・Wカップが開かれる。世界から多くの観戦者が訪れる。山梨ではフランス代表がキャンプ地として訪れる予定だ。ラグビーはルールが難しいので見ないという人も多いかもしれない。要はボールを前になげてはいけないのだ。筆者の高校では3年間体育でラグビーを行っていた。1年の時には柔道部の生徒にはじきとばされ脳しんとうで救急車で運ばれた苦い思い出もあるが、それでも見ていて応援しているチームが勝つ試合は面白い。大学ラグビーでは今年明治大学が22年ぶりに日本一となった。「人材の墓場」と揶揄されてからの復活だ。復活の要因の一つには新監督による寮生活も含めた改革があるという。それまで9連覇を達成した帝京大学の監督・岩出雅之氏の著書『常勝軍団のプリンシプル』（日経ＢＰ社）でも「トップやリーダーが変わること」「メンバー人一人ひとりが自立的に考え行動し助けいながら自ら学習、成長する集団」なることの必要性を説いている。スポーツに限らずこれからの社会では、いかに「モチベーション」を高めていくかが鍵となりそうだ。（木）